

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Sep.2009

9

No.587



町内で活動する日本舞踊の4流派が一堂に会した「第1回いなわしろ日本舞踊各流派合同発表会」は8月23日、町体験交流館「学びいな」で開催されました。各流派が日ごろのけいこの成果を披露し、訪れた観客を魅了しました。写真は「梅川忠兵衛」を演じる花柳寿美衛師匠と花柳陽真さん

シニアパワーと 未来をつくる

日本全体が抱える問題——高齢化——
町も例外ではありません。
高齢化が進み、生産人口が減少する。
町や集落の行事に携わり、実際に動ける人が減っていけば、
集落の活気は失われていってしまいます。
そうならないために、何か出来ることはないでしょうか
そのカギは、元気に活動するシニアのパワーが握っています



演目(名前)の順で紹介(敬称略)

- 01 秋の色種(若柳和香)
- 02 刃傷松の廊下(内海道京)
- 03 宝船(長谷川利夫)
- 04 お初(日下光子、土屋千賀子)
- 05 母ざんげ(内海京佳)
- 06 桜狩(野矢ハルコ)
- 07 橋場の渡し(米村由美子、渡部正子)

町内4社中の師匠が競演
祝舞「老松」で幕を開けた
(左から)
藤間紫真藤、花柳寿美衛、
若柳和香、内海道京

現在町に住む百歳以上の高齢者は六人、八十歳以上になると一、七七六人。人口に占める六十五歳以上の高齢者の数を表す高齢化率は31割となっています。

豊かに生きる

「高齢化が進んでいる」と言う聞こえは良くありません。町内の日本舞踊四流派が一堂に会した「第一回いなわしる日本舞踊各流派合同発表会」は八月二十三日、町体験交流館学びいにて開催されました。

若柳流静舞会、花柳流みほ乃会、内海流道京会、紫派藤間流紫真藤会の会員が次々とステージに登場し、日ごろのけいこの成果を披露しました。

会場に詰めかけた四百人を超える観衆は、舞台上で練り上げられる華麗な舞に酔いれました。



発表会の終了後、会場を出ていくおばあちゃんの言葉が耳に入りました。

「〇〇さんもまだ元気で踊ってんでは、おれもまげらんにえな。足引きずってる場合じゃねえな」そう言って笑うおばあちゃん、この発表会を見に来たことで、元気づけられたのではないだろうか。

「お年寄りが元気に長生きできる町」であるなら話は別です。自分たちも健康であり、知識や経験を生かして、自分たち以外の人も元気にする。そんな活動をしているシニア世代の人たちが、町にはいます。

今回の合同発表会開催のきっかけは、町体験交流館の建設が決まった平成十八年にさかのぼります。新しい文化施設の建設に際して、自分たちができることを考え、合同発表会を思いつきました。

すぐに町内四社中の師匠会議を開き、発表会を通して地域の活性化と出演者の資質の向上に努めようと話し合いました。最初のころは、「私の教室はこうだから」と、まともいづらいつつもありませんでしたが、大きな目標のために力を合わせていくことで、各流派の垣根を越え、発表会への不安と緊張を乗り越えることができました。

生徒には「他流派の踊り、他人の踊りを見ることも自分

たちの資質の向上につながる」と教え、年齢に関係なく、お互いに勉強をさせながら練習を重ねました。

踊りごとに効果的な演出を考え、舞台を引き立ててくれたスタッフにも感謝していません。シルバー人材センターではないけれど、持っている技術を生かして、舞台装置や小道具などを手作りで作ってくれた人もいます。

踊りにかかわるすべての人が、それぞれの持ち場で自分の力を発揮することにより、わたしたちも、スタッフも、豊かな心と健康な体を手に入れることができます。そしてお客さんも豊かな気持ちになる。それが素晴らしいことですね。



合同発表会実行委員長
若柳流静舞会師匠
若柳 和香さん

元気に暮らす

「老人がやるスポーツ」というイメージが強いゲートボール。事実、競技をしている人は高齢者が多いですが、その姿はとも元気に見えます。田中徳英町ゲートボール協会長にゲートボール競技と協会の取り組みについて聞きました。



別な取材で車を走らせている時に、たまたま練習をしていた千代田西部ゲートボールクラブの皆さん。「よし、うまい」「ここを狙って打ってみて」と、お互いに声を掛け合いながら、楽しそうに技術を高めあっていました。



町ゲートボール協会
田中徳英会長

適度に太陽に当たりながら、無理をせずに練習して健康を保つ。そして、一緒にプレーする仲間と親睦を深めよう。こういうのがいいところなんです。人それぞれの技量に合わせて、楽しくやろう。会員には、いつもそう言っています。ゲートボールは、チームプレーですから、お互いが仲間の技量を知り、それを認めた上で、仲良く、楽しくやるのがいいんです。基本的な技術を覚えることはもちろんですが、ルールに違反しないでゲームをすれば、必ずうまくなります。今回の県大会で優勝できたのも、常日ごろの練習の成果が出たものです。協会は、会員全員のレベルアップを図ろうと、五月に講習会を実施しました。審判の資格が取れる程度のルールや技術を学んで、基本的なレベルを底上げしたんです。それが、今回の優勝につながったと思います。生涯学習の一環として、年一回程度、小・中学生を対象に、講習会も開いています。講習の最後には、交流戦をしたりして、子どもたちと世代間の交流を深めます。子どもたちにも、われわれにもいい事ですよね。ゲートボールは「生きがい」づくり。年を取って、家で一人テレビじゃさみしいでしょう。近所の人と交流を深め、同時に健康づくりもできる。それがゲートボールの素晴らしさです。

第十九回県市町村ゲートボール選手権大会で、本町チームが見事優勝

「優勝したらどうすっべってよ、車の中でしゃべってたんだよ」「昼ごはんどうするなんつってな」役場を訪れた選手の方々は、明るい表情で笑いながら話しました。第十九回県市町村ゲートボール選手権大会は八月二十九日、小野町総合運動公園グラウンドで開かれ、猪苗代町チームが、見事優勝を果たしました。町ゲートボール協会の田中徳英会長と選手の方々は八月三十一日、津金町役場を訪れました。二瓶彦一主将が「練習の成果を発揮して、優勝する

ことができました。来年開かれる、東北大会と全国大会でも頑張ります」と優勝の報告をすると、田中会長が「心・技・体が一体となった素晴らしいプレーができた。第一回大会での準優勝以来の快挙です」と選手をたたえました。報告を受けた津金町長は、「心からお祝いを申し上げます。健康で日々を楽しみます。健康で日々を楽しく過ごせることは、とても素晴らしいので、これからもがんばってください。」と激励の言葉をかけました。

本町チームは、来年開かれる、東北大会と全国大会への出場が決定しました。ゲートボールをしている人に限った事ではありません。お年寄りが子どもたちとの交流を持つことには大きな意義があります。ゲートボール場の近くや、家の近所で遊ぶ子どもたちを知り、あいさつを交わしたりするだけのつながりでも、不審者などの声かけから、子どもたちを守る抑止力になるのではないのでしょうか。「健康づくりのために」とスタートしたゲートボール。今では、お互いの健康づくりのためだけではなく、一人一人の顔が見える地域づくりに貢献しています。一生懸命で、誰かの役に立っている。こんな生き方をしている皆さんは、「生涯元役」と呼んでもいいのではないのでしょうか。

心・技・体が一体となった素晴らしいプレーができた

(田中徳英会長)



優勝報告に町役場を訪れた本町チームの皆さん。(前列左から)大久保武男さん、二瓶彦一さん、安部幸英さん(後列左から)宇南山一栄さん、斉藤登さん、津金町長、田中会長、涌井清江さん



性別に関係なく楽しめるのもゲートボールのいいところです

地域でつながる

高齢化がもたらすもうひとつの問題 — 限界集落 —
本町でも、雇用の減少や交通の利便性などを考え、
若者の人口流失が続いています
小さな集落や地域の伝統は
このままなくなってしまうのでしょうか



達沢不動滝を見つめる小椋区長
達沢集落は町の貴重な財産を守っている

取材を終えて

元気で頑張っているシニア世代が、こんなにたくさんいる。今回の取材を通してあらためてそう思いました。

日本舞踊という伝統を引き継ぎ、守りながら、自分の健康も守る。そしてそれを見る人たちにも元気を与える。

健康づくり、生きがいづくりにゲートボールをしながら、地域のつながりをつくり、なおかつ、世代間の交流を持って子どもたちを守る。

さまざまな活動に見るシニア世代の活躍には、人生を豊かに生きるヒントにあふれています。人が豊かになるなら、町も豊かになります。

こういうシニア世代の人たちの知恵、知識や経験を、ほかのことにも生かしてもらい、今後のまちづくりを進めていく。そのためには、シニア世代がまちづくりに積極的に参加できるシステムを構築することが必要なのだと思います。

特集 シニアパワーと未来をつくる
おわり

限界集落とは、長野大学の野見教授（高知大学名誉教授）が平成三年に最初に提唱した概念で、「過疎化などで人口の50割が六十五歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭などの社会的共同生活の維持が困難になった集落」のことを指します。

高齢化率31割の本町が、二十年七月に実施した調査では、人口の50割が六十五歳以上の集落は一集落。しかし、五年後の二十五年には八つの集落がその状況を迎えるという結果でした。その中の一つが、達沢集落です。町が誇る名瀑、達沢不動滝を抱える山間の集落ですが、人口、若者人口とも、徐々に減ってきています。そうした状況の中で、どうやって集落を存続させていくか。達沢集落の小椋隆夫区長に、集落の現状や取り組みについて聞きました。



達沢区長
小椋 隆夫さん

高齢化は避けられない

人口が減ってきているのはしょうがないと思います。町内全域がそんな状態でしょから。仕事がなくて食べていくことができないのなら若者だつて外に出るしかない。そうなると、地区に残るのはお

年寄りが多くなってきました。高齢化は避けられない状況でも、冠婚葬祭や地域の祭りなどは、地区内の助け合い、工夫や頑張りによって続けていけるのではないのでしょうか。達沢地区では、不幸ができた場合には、組長が中心となつて葬儀を執り行います。昔から行われている「知らせ」などは残っているし、まだまだ

できません。問題が起きれば区長であるわたしや近所の人協力して解決にあたります。最近では葬祭場などがあるので、それをうまく利用すれば、そんなに困ることはないですね。

それぞれが補い合う

祭については、少しずつ形が変わってきました。昔は青年部が中心となつて祭を取り仕切っていました。青年部も約十人ほどに減つたため、区や老人クラブが主体で運営します。

不動滝の祭りも旧暦で行われるため、平日に当たるのがほとんど。そのため、神事は老人クラブが中心で、直近の日曜日には青年部が店を出すなどして、地区全体で協力しあいながらの運営をしています。

地区の人足も分業です。比較的若い人は草刈りや力仕事。お年寄りは改善センターの掃除などをします。こうすれば不平等な感じはないですね。

こういう山間に住むのだから、お互いに協力していかなければ何もできなくなる。一人暮らしの人の家を、近所の人が見てあげること、畑で採れた野菜を近所で分けることなど、協力する形はいろいろあります。お互いにできることを精一杯やれば、高齢者が多くなつても、みんなで暮らしていけます。

目指すのは元回集落

お正月、お盆など帰省するのを楽しみにしている人たちがいます。お盆なんかは地区の人口が倍くらいになります。町外に働きに出て行って、仕事がないために、戻りたくても戻れない人もいます。子どもたちやそういう人たちが帰ってくる古里だから、地区は元気に存続しているほうがいい。

協力し合っているうちは、まだまだ限界じゃないです。子どもたちが帰ってきて、元気を回復する集落。そして自分たちも、まだまだ元気に暮らす集落。

助け合い暮らしていく

限界ではなく、元回集落になれるといいですね。

Elementary school



泳げるようになったかな？

町内各小学校は7月18日から8月24日までの38日間、夏休みに入りました。

今年は、梅雨が長びいたため、気温が上がらず、プールで遊べる日も少ないのではと心配しながら訪れた猪苗代小学校でしたが、児童たちは元気に水泳を楽しんでいました。

佃未来さん(4年)は「今年は目標を立ててプールに来ました。泳げるようになってうれしい」、渡部琴淋さん(4年)は「今日で6回目のプールです」とスイスイ泳いでいました。

水遊びに夢中な下級生。阿部菜摘さん(1年)は「夏休みはプールが楽しかった。背泳ぎができるようになりました」、吾妻滯奈さん(1年)は「お父さんの実家で、伯父さんの子どもの面倒を見てあげたのが楽しかった。2学期も頑張るよ」と夏休みの感想を聞かせてくれました。



写真上 みんなで水をかけあって遊ぶ児童たち。泳ぎの練習よりもこちらのほうが楽しそうです
写真下 ちょっと寒いけど元気がいっぱい。左から小川さん、阿部さん、吾妻さん

Junior high school



鈴木さん東北大会で6位に

東北中学校陸上競技大会の女子共通800mで6位入賞を果たした鈴木美姫さん(東中3年)は8月11日、中村幸裕校長らと町役場を訪れ、津金町長、土屋教育長に結果報告をしました。

「決勝進出が目標だったので、6位入賞はうれしかったです」と話した鈴木さん。「次の大会に向けて、チームのみんなで頑張っていきたい」と抱負を述べました。津金町長は「目標を持って、そこに進むということは大事、これからも活躍に期待しています」と激励の言葉をかけました。

指導に当たった陸上部顧問の薄和也教諭は「いつも通りの走りができれば、いけると思っていた。ラスト200mからのスパートという持ち味を發揮し、最後まであきらめない走りができた。ほかの部員の助けや気づかいなどのバックアップも力になった」と教え子たちの活躍をたたえました。



写真上 次の目標に向かって練習に励む鈴木さん(中央)と東中学校陸上部女子長距離のメンバー
写真下 右から薄教諭、中村校長、鈴木さん、津金町長、土屋教育長

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



ボランティアで大会を支援

猪苗代町から会津若松市までを舞台に開催された「第11回うつくしまトライアスロン in あいづ」。

大会当日の8月23日、猪苗代高校の生徒がボランティアとして参加し、会場の設営、受付業務、選手のチェックや応援などで大会運営に協力しました。参加したのはスキー部、JRC委員会の生徒や希望者など約20人。スキー部主将の井上賢之介さんは「普段は選手として大会に参加しているので、裏方の手伝いなどはしたことがありません。大会を運営するということ、こんなに大変かを知ることができ、非常に勉強になりました。今日は選手たちがベストを尽くせるように応援します」と感想を述べました。

猪苗代高校の生徒たちは、同大会へのボランティアだけでなく、町内のいろいろなイベントに参加して協力してくれています。



写真上 スイムからバイクに移る選手たちのチェックをする。応援の生徒らは笑顔で鉄人たちを励まします
写真下 スティックパルーンをたたき、選手を応援する井上主将(左)とスキー部員



うがい、手洗いをしっかりと

町内各幼稚園の第2学期始業式は8月25日、各園で開催されました。

猪苗代幼稚園では、夏休みを終えてひと回り大きくなった園児たち63人が始業式に臨みました。

式では、本多勝男園長が「元気な姿の皆さんに会えてうれしいです。明日からもあいさつを忘れず、外でいっぱい遊んでください」とあいさつ。夏休みは何が楽しかったですかと尋ねると「映画を見に行ったのが楽しかった」「キャンプに行ってきた」「おばあちゃんの家に行って遊んできた」と園児たちからは元気な答えが返りました。

本多園長は、県内でも猛威をふるっている新型インフルエンザを予防するため「みんなもうがいと手洗いをしっかりやって、風邪をひかないようにしようね」と園児たちに注意を呼びかけました。

大人も手洗いうがいを心がけましょう。



写真上 元気な姿を見せた園児たち。友達と思い出を話し合ったりしていました。楽しい夏休みを過ごしたようです
写真下 園児たちにうがいと手洗いの大切さを説明する本多園長

High school

Nursery school



英霊 800 余柱の冥福を祈る

200 人が出席し、町戦没者追悼式



出席者全員で英霊の御霊を慰めました

町戦没者追悼式は8月7日、町体験交流館学びいにて執り行われました。式には遺族会会員や来賓など約200人が出席、国歌斉唱の後、黙とうをささげ、先の大戦で犠牲になった800余柱の冥福を祈りました。

津金町長が「わたしたちが物心ともに豊かな生活を送れるのは、犠牲者の皆さんの礎のおかげ。尊い犠牲の上に築かれた現在の平和と繁栄を維持し、悲惨な戦争から得た教訓と平和の尊さを伝えていきます」と式辞を述べた後、山口靖明会津保健福祉事務所長、関澤和人議長が追悼の言葉を述べました。

納税への取り組みをたたえ

八千代納税貯蓄組合へ感謝状贈呈



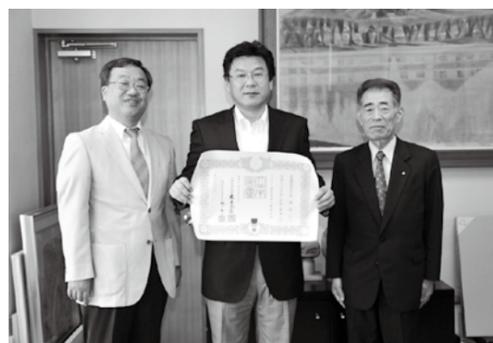
右から高橋部長、森合局長、常盤連合会長、阿部組合長、津金町長

21年度の優良納税貯蓄組合への感謝状贈呈式は8月5日、町役場で開かれました。県会津地方振興局の森合正典振興局長、高橋純一県税部長らが来庁し、八千代納税貯蓄組合の阿部浩一組合長に感謝状を手渡しました。

阿部組合長は「当組合は、納税だけにとどまらず、地域に貢献する共同体としての役割も担って活動してきました。いろいろな問題などありますが、可能な限り続けたい」と述べました。式の終了後、同組合の会員らは、八千代地区の公民館に会場を移し、祝賀会を開いて会員同士の親睦を深めました。

遠藤さんが紺綬褒章を受章

多額の寄付、功績をたたえられる



左から塚原部長、遠藤さん、津金町長

「野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金」として、昨年町に800万円の寄付をした千葉県在住、会社経営遠藤昭二さん(47)＝西高森出身＝が紺綬褒章を受章し8月12日、町役場で伝達式が挙行されました。

伝達式では、塚原啓史県会津地方振興局企画商工部長から褒章が手渡され、遠藤さんは「立派な章をいただき光栄です」と感謝を述べました。

伝達式終了後、遠藤さんは今年度も町へ1,000万円を寄付。津金町長に目録を手渡しました。

中心市街地の活性化を要請

まちづくり猪苗代について報告書



報告書を手渡す長谷川委員長(右)と津金町長(左)

町が出資・出援している、第三セクターなどの外郭団体の運営状況について、点検、評価をする「公社等外郭団体点検評価委員会(長谷川一委員長)。(株)まちづくり猪苗代の点検評価を終え、8月6日、町がとるべき措置について町長に報告書を提出しました。報告には、「中心市街地を活性化するための機関なので、まちづくりの中核会社としての使命を果たすこと。多方面への事業拡大、新たな経営戦略の実践、固定負債の改善や繰越損失の早期解消に努力する必要がある」などが示され、津金町長は「報告を真摯に受け止め、改善に努める」と話しました。

町の代表という誇りを胸に

市町村対抗軟式野球の選手が決定



背後にそびえる磐梯山のように力強いプレーを期待します

県内各市町村の代表チームが熱戦を繰り広げる、第3回市町村対抗福島県軟式野球大会は9月26日、福島市の県営あづま球場で開幕します。同大会に出場する、猪苗代選抜チームのメンバーが決定しました。町内の野球チームから選抜された26人とふるさと選手2人を含む合計28人。この28人が大会に臨みます。

昨年は、1回戦で浪江町チームと対戦。1-2で敗退しましたが、優勝チームを相手に接戦を演じた実力はまぎれもなく本物です。今年こそは練習の成果を発揮し、優勝を目指して頑張ってください。

鉄人たちが己の限界に挑戦

会津の雄大な自然を舞台に大激走



40km先の会津大を目指してバイクのスタート

第11回うつくしまトライアスロン in あいづは8月23日、猪苗代湖の天神浜でスイム(1.5km)、天神浜から会津大までのバイク(40km)、同大周辺を走るラン(10km)のオリンピックディスタンスで開催され、全国から出場した397人が、自らの限界に挑戦しました。開会式で「風光明媚なこの会津の地を、全力で走り抜きます」と力強く宣誓した前後賞選手(東京海洋大3年:酸川野出身)は、「生まれ育った故郷で、家族や親せきの声援を受けながら、練習の成果を発揮することが出来て幸せです。一生忘れられない思い出になりました」とレースの感想を述べました。

「聞く」より「聴く」で子育てを ～子育てコーチング～

「コーチング」という言葉を聞いたことがありますか。コーチングは、人を育てるための手法の一つです。スポーツの世界で指導をするコーチが有名ですが、仕事上で個人の能力を伸ばしていく方法も指すなど、主にビジネスの場を中心に取り入れられているコミュニケーション技術です。

そのコーチングが、最近では子育てにも応用されています。

子育てにおけるコーチングとは、子どもの持っている考える力や学ぶ力などの能力を引き出し、子どもの自立を支援していくことです。

大人のかかわり方次第で、子どもたちの能力はどんどん伸びていきます。基本は、じっくり子どもの話を聴くこと、子どもをよく観察し、ありのままを認めること、そして適切な受け答えをすることです。

中でも「聴く」ことは、子どもの成長を支える上でとても重要な要素です。子どもたちの日常生活にはいろいろなことが起こっています。嬉しかったこと、悲しかったこと、辛かったことやちょっとした心の中もやもやなど、さまざまな思いを抱えて家に帰ってきます。そして、「あのね、今日ね」と話すことで自分の気持ちを整理したり、確認したり、嬉しさを再体験したりしているのです。

さらに、聴くことは子どもの存在を肯定する行為でもあります。親から大事にされているという安心感を与えることで、子どもは積極的に親と良い関係を保とうとします。

日ごろの生活を振り返ってみましょう。忙しい時など、つい顔を向けずに声だけで子どもの話を聴いたり、「忙しいからあとでね」などと言ってしまったことはありませんか。子どもの



子どもたちが何に興味を持っているか、何を望んでいるか分かりますか。「聴く」ことは、親子のコミュニケーションを深めます。

様子から「どうしても聞いてもらいたい」という気持ちを感じた時は、ぜひ視線を合わせて子どもの話を聴いてあげましょう。

また、次の2つを比べてみて、どう思いますか。

1. どうしてやらなかったの？
2. どうしたらやれると

思う？

1よりも2のほうが、子どもは自分の行動を考えやすいと思います。この違いは、過去と未来です。過去のことを問い詰めるのではなく、メッセージや質問を未来に向かって投げかけることで、自分で選択し、自分の言葉で表現できるのです。

保健福祉課
健康づくり業務
☎(62)2115

宿題をやらせない子どもに、「宿題したの?」「早く宿題しなさい」「いつまで遊んでいるの!」と言ってばかりではイライラが募り、疲れてしまいますよね。そんなとき、「何時から宿題スタートする?」「こんな言葉がけをしてみてはどうでしょう。か。子どもが自分で決め、自分の言葉で話せるように大人が方向付けするだけで、普段のコミュニケーションも少しずつ変わってくるのではないのでしょうか。」

人の話をただ「聞く」のではなく、耳を傾けて心で「聴く」ことは、簡単そうでなかなか難しいことですが、そうすることで新たな発見があったり、家庭や仕事での人間関係を変えるキッカケになったりするかもしれませんね。



写真右から美澄さん(小4)、美波ちゃん、陽生くん(6歳)、睦月くん(3歳)

お姉ちゃんやお兄ちゃんたちが大好き。後ろを追いかけて行って、よく一緒に遊んでいます。「美澄がよく面倒を見てくれるので、とても助かっています」とママの由美子さん。

佐藤美波 ちゃん

平成20年6月生まれ
～新屋敷
信之さん・由美子さん夫婦の次女

玄関に並んだサンダルが物語る、佐藤家の4人兄妹は今日も元気いっぱいです。

お父さんに、高い高いや肩車をしてもらうのが大好きな、お父さん子の美波ちゃん。お父さんが家にいるときは、ぴったりとそばに寄り添っているそうです。

歩けるようになったので、どんどん歩きたくて仕方ない美波ちゃんは、玄関から靴を持ってきて「くっく、くっく」と、ママに散歩をおねだりします。ママがちよっと手が離せない時には、長女的美澄さんが大活躍。

「妹の面倒をみるのは大変な時もあるけど、かわいいから一緒に遊んであげます」そう言って笑う美澄さん。抱っこされた美波ちゃんも、満足げな表情で笑っていました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

学びいなの中から、トピカルムードあふれる音楽が聞こえてきたら、それはハワイアン・フラパネキの皆さんかもしれません。インストラクターの遠藤富巳先生の指導のもと、毎週金曜日の午後7時から練習をしています(希望者には午後6時からウクレレも教えています)。

メンバーは、30代から70代までの14人。練習以外にも、いなわしろホーム、ケアテル猪苗代や咲楽の里などを訪問し、入所者の皆さんに南国の風を届けています。

新しいメンバーも募集中、見学も自由なので、興味のある人は、ぜひ遊びに来てください。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
☎(62)2111

ハワイアン・フラパネキ (長沼真知子代表)

「アロハ」のハンドサインでポーズ。練習中とは違う、にこやかな笑顔が印象的でした



(写真左)月2回、郡山市から指導に来てくれる遠藤富巳先生(写真右)真剣な表情で基本動作を練習するメンバーの皆さん。11月の学びいなの祭りにも出演し、練習の成果を披露するそうです



体験交流館ニュース

駐車場や庭園が完成しました

体験交流館の屋外工事が完了し、駐車場・駐輪場・庭園の使用ができるようになりました。

利用者の皆さんが快適に過ごせるよう、施設の維持管理に努めます。



小学生チャレンジキャンプ



町内の4年生以上を対象とした小学生チャレンジキャンプは8月5日から7日までの3日間、びわ沢山荘を中心に開催されました。

子どもたちは野外炊飯やキャンプファイヤーだけでなく、猪苗代町宝の山グラウンドゴルフ愛好会の皆さんとプレーをし、世代間の交流を深めたり、環境保護について学習し、猪苗代湖にアサザの苗を植えたりと、いろいろなことを学びました。

英会話教室の受講者を募集

英会話教室の受講者を募集します。

英語指導助手のダニエル先生と、本場の英語に触れながら、楽しく英会話を学んでみませんか。



【こども英会話教室】

日時：9/30、10/14、11/18、12/2、12/16（全5回）

①幼児～小学1年 18：30～19：00

②小学2年～6年 19：10～19：40

内容：①アルファベットを覚えよう！

②単語を覚えよう！

場所：体験交流館 対象：幼児～小学生

参加費：無料 持ち物：筆記用具、色鉛筆

【英会話教室】

日時：10/1、10/15、11/19、12/3、12/10（全5回）

①初級 18：30～19：25

②中級 19：35～20：30

内容：①日常会話を習得する（中学生程度）

②英会話を楽しむ（高校生程度）

場所：体験交流館 対象：中学生以上

参加費：無料 持ち物：筆記用具、辞書

申し込み、問い合わせは体験交流館まで

「健全な社会づくり運動」標語募集

郷土を担う青少年が、心身ともにたくましく、明るく成長することは、町民すべての願いです。町青少年健全育成町民会議では、「健全な社会環境づくり運動」を展開しており、その活動の1つとして、今年も下記のとおり標語を募集します。皆さんの応募をお待ちしています。

テーマ：「笑顔」「あいさつ」「ふれあい」のいずれか

部門：①小学生（4～6年生）の部 ②中学生の部 ③高校生の部 ④一般の部

表彰：部門ごとに、最優秀賞1名、優秀賞2名程度、佳作若干名（賞状と副賞を贈呈）

※体験交流館に備え付けの応募用紙に作品を書き、9月30日（水）までに提出してください。

※1人3点まで応募できますが、入賞はそのうちの上位1点のみとし、応募作品は返却しません。

ふるさと歴史館ニュース

新刊図書が続々と入荷しています。読書の秋を満喫しましょう

- | | | | | | |
|----------|------|---------|------|-------------|-------|
| ◆運命の人 | 山崎豊子 | ◆1Q84 | 村上春樹 | ◆神の守人來訪編 | 上橋菜穂子 |
| ◆偽善エコロジー | 武田邦彦 | ◆少女 | 湊かなえ | ◆神の守人帰還編 | 上橋菜穂子 |
| ◆筆談ホステス | 斉藤里恵 | ◆つみきのいえ | 平田研也 | ◆闇の守人 | 上橋菜穂子 |
| ◆利休にたずねよ | 山本兼一 | ◆図書館戦争 | 有川浩 | ◆プリンセス・トヨトミ | 万城目学 |



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

ブルーレイクハーモニー定期演奏会

ブルーレイクハーモニーの定期演奏会が8月2日に開催されました。

日ごろの練習の成果を發揮したメンバーらが奏でるハーモニーに、客席からは大きな拍手が送られました。



公園整備のボランティア

猪苗代町さぎ草を育てる会は8月8日、体験交流協会会員や町職員などと協力し、体験交流館周辺の草むしりを実施しました。

ピオトープの草を取り除くと、さぎ草の可憐な花がのぞき、草むしりに疲れた参加者たちの心を和ませました。



越後と会津を語る会猪苗代大会

今話題のNHK大河ドラマ「天地人」にまつわる話、新潟から移住してきた打越・富永地区の開墾についての話や野口英世の話など盛りだくさん。町民の皆さんの参加をお待ちしています。

●開催日 10月24日（日）申込締め切り9月18日

●参加費 1,000円

●問い合わせは、学びいなまで

町民球技大会地区大会結果（翁島地区・月輪地区・長瀬地区・猪苗代地区）

8月に開かれた地区大会の結果をお知らせします。

【翁島地区大会】8月2日（日）

○ソフトボール 優勝：三城瀧 準優勝：翁島駅前

○バレーボール 優勝：西久保 準優勝：蟹沢・長浜

【月輪地区】8月2日（日）

○ソフトボール 優勝：山潟 準優勝：上戸・上戸駅前・湊志田

○バレーボール 優勝：金曲 準優勝：上戸・上戸駅前・湊志田



【長瀬地区】8月9日（日）

○ソフトボール 優勝：白津 準優勝：東館

○バレーボール 優勝：川桁 準優勝：下館

【猪苗代地区】8月9日（日）

○ソフトボール 優勝：祢次 準優勝：名古屋町

○バレーボール 優勝：本町 準優勝：四ツ谷



猪苗代歴史探訪

（翁島地名考）

猪苗代湖の北西に浮かぶ翁島は、安山岩塊で構成された小島である。江戸時代にはすでに翁島と呼ばれ、翁神社が立地していた事は「会津風土記」の記録からも分かるが、その名前の由来は定かではない。

大同元年の磐梯山噴火や猪苗代湖成因説と結び付けて翁島の地名を説明するために、老人夫婦や「おきな」と呼ぶ織女を登場させた民話が伝えられるのみである。

古くから、水上に浮かぶ島は、神が宿る象徴として人々に信仰されてきた。日本各地にみられる沖ノ島や、隠岐島は「沖に浮かぶ島」の意で、地理環境と結び付いて発生した地名であり、「翁島」もこの「沖の島」がなまった名称と考えられる。

かつて猪苗代湖は、水上交通も盛んであった。そこに浮かぶ翁島は湖を象徴する神であり、その安全を祈願する島として尊崇されていた。島の祭神「翁明神」の明神とは「磐梯明神」の明神と同様、古い在地の神を意味するもので、いずれの名称も地名に基づいている。（兼田）



人事

町職員の人事異動を お知らせします

町職員の異動が9月1日付で行われました。()内は旧職名。

異動

主任相当職

▼保健福祉課主査(総務課付主査)古川達也▼商工観光課主査(総務課付主査)笠間徹▼生涯学習課主査(税務課主査)佐藤 隆▼生涯学習課社会教育主事兼体験交流推進主任専門員(生涯学習課社会教育主事)安部智恵

担当の職

▼税務課主事(保健福祉課主事)飯山義隆

求人

急な失業を余儀なくされた皆さんへ

急激な経済情勢の変動により離職を余儀なくされ失業した人

手当

母と子の幸せのために 児童扶養手当

この手当は、父母の離婚などにより、父と生計を同じくしていない18歳までの児童(障がいがあるときは20歳未満)の母や母に代わって、その児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障がいがある場合には支給されます。

【次のような場合、手当は支給されません】

- ① 手当を受けようとする人、対象児童が、日本に住所を置いていない場合
- ② 対象となる児童が、父または母の死亡について支給される公的年金や労働基準法の規定による遺族補償を受けることができる場合
- ③ 対象となる児童が、父に支給される公的年金給付の加算の対象となっていない場合
- ④ 対象となる児童が、里親に委託されている場合。児童福祉施設(保育所・通園施設を除く)などに入所している場合
- ⑤ 父と生計を同じくしている場合(ただし、父が障がい該当

に、就業の機会を提供するため、緊急臨時職員を募集します。

▼募集職種および人員

- ・ホームページによる情報発信事業(一般事務補助)若干名
- ・観光イベント運営体制整備事業(一般事務補助)若干名
- ・高齢者世帯実態把握調査事業(一般事務補助)若干名
- ・次世代育成および高齢者支援ニーズ調査事業(一般事務補助)若干名
- ・町地域包括支援センター運営体制強化事業(一般事務補助)若干名

▼資格要件 心身とも健康で、本人が失業者であり、普通運転免許証を取得している人。

▼勤務条件 猪苗代町緊急雇用創出基金事業における臨時職員の雇用等に関する規則による。

▼応募手続き 町指定の履歴書に写真貼付の上、9月24日(木)まで総務課へ提出してください。

▼雇用期間 21年10月2日から

22年3月31日まで

▼問い合わせ先

総務課 行政管理業務
☎(62) 21111

幼稚園教諭・保育士の 嘱託員を募集

幼稚園教諭・保育士の嘱託員を次のとおり募集します。

- ▼募集職種および人員
- ・幼稚園教諭 若干名
- ・保育士 若干名

▼資格要件 心身とも健康で、21年4月1日現在55歳以下の幼稚園教諭、保育士の免許・資格を取得している人。

▼勤務条件 猪苗代町嘱託員の任用等に関する規則による。

▼応募手続き 町指定の履歴書に写真貼付の上、9月25日(金)まで総務課へ提出してください。

▼問い合わせ先 幼稚園教諭嘱託員 教育総務課 教育総務業務
☎(62) 5677
保育士嘱託員 猪苗代保育所
☎(62) 2637



募集

ちびっこランドで楽しく 友達づくり

町では、親子の遊びの教室「ちびっこランド」を、前期と後期の2回に分けて開催しています。今回、後期の参加者を募集します。お友達と一緒に思いきり遊びましょう。

保護者の皆さんも、情報交換やリフレッシュの場として、参加してみませんか。

▼対象 町内在住の2歳から4歳までの子どもと保護者20組(※以前に参加したことがある人は除きます)

▼日程 10月27日(火)・11月17日(火)・12月15日(火)
22年1月19日(火)・2月16日(火)(全5回)

▼時間 午前10時から12時まで

▼会場 町農村環境改善センター

▼申込締め切り 10月2日(金) 定員になり次第、締め切ります。

▼申し込み方法・問い合わせ先 保健福祉課へ電話で申し込んでください。
☎(62) 2115

に関する詳細については、問い合わせてください。

▼問い合わせ先 県児童家庭課
☎024(521)7176
保健福祉課 社会福祉業務
☎(62) 2115



早期発見があなたの命を救います

(子宮頸がん・乳がん無料検診のお知らせ)

今年度、一定年齢の女性を対象に、子宮頸がんおよび乳がん検診の無料クーポン券を配布するとともに、検診手帳を交付する「女性特有のがん検診推進事業」を実施します。

対象となる人に、受診案内、クーポン券、検診手帳を郵送しましたので、町の実施する検診(集団検診または指定医療機関)において、積極的に受検してください。

詳しくは、受診案内、検診手帳をご覧ください。

<対象者>

(1) 子宮頸がん検診

前年度に(昨年4月2日から今年4月1日までの間に)20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性。

(2) 乳がん検診

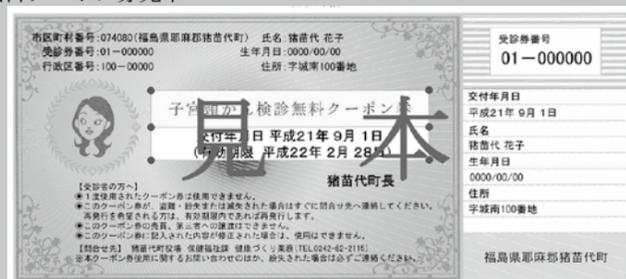
前年度に(昨年4月2日から今年4月1日までの間に)40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった女性。

<持参するもの>

- ① がん検診無料クーポン券
- ② 保険証(身分を証明できるもの)
- ③ 検診録(受診録)

<クーポン券>

無料クーポン券見本



<検診手帳>

検診手帳は、検診受診日の記録をするなどして、健康管理に役立ててください。

●問い合わせ先 保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)2115

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

- ▼猪苗代町行政相談委員
宮沢 重正さん(下館)
☎(66) 3995
- ▼開催日時 9月16日(水)
午後1時から3時まで
- ▼場所 町役場3階 日本間
- ▼問い合わせ先
総務課 秘書広報業務
☎(62) 2111

人権問題や法律などの相談はこちら

毎日の生活の中で、人権問題ではないかと感じたことや、法律の取り扱いが分からなくて困ったことはありませんか。そんな時には、人権擁護委員と行政相談委員が、問題解決のお手伝いをします。この機会にぜひご相談ください。

- ▼開催日時 10月6日(火)
午前10時から午後3時まで

募集

町介護保険運営協議会の委員を募集

町介護保険運営協議会では、町の介護保険事業の運営、地域包括支援センターの運営や地域密着型サービスの運営などの審議を実施しています(年に4回程度開催)。町民の皆さんの意見を反映させながら介護保険事業などを実施していくため、介護保険運営協議会委員(被保険者代表)を募集します。

- ▼対象 猪苗代町の介護保険加入者(町内に住所を有する40歳以上の人)昭和44年10月1日以前に生まれた人)
- ▼募集人数 3名
- ▼任期 委嘱の日から3年間
- ▼報酬など 協議会に出席した場合、町の規定により報酬および交通費を支給します。
- ▼募集期間 9月30日(水)まで
- ▼応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、保健福祉課まで提出してください。応募用紙は保健福祉課にあります。
- ▼問い合わせ先
保健福祉課 高齢者福祉業務
☎(62) 2115(直通)

- ▼場所 町役場3階 日本間
- ▼その他 相談無料・秘密厳守
- ▼問い合わせ先
総務課 秘書広報業務
☎(62) 2111

保険証

新しい国保の保険証をお届けします

国民健康保険の保険証は年に一度、10月1日に更新をします。9月下旬、新しい保険証を書留郵便で世帯主あてに送付しますので、10月からの受診には新しい保険証を使用してください。保険証の受け取りには、受取者のサインなどが必要です。不在の場合、郵便局から不在連絡票が投函されますので、郵便局へ連絡の上、必ず受け取ってください。

- ▼有効期限を過ぎた保険証は、医療機関の窓口で誤って提示したり、そのままゴミに出して他人に悪用されたりするのを防ぐため、国保年金業務の窓口(郵送でも可)に速やかに返還してください。
- ▼問い合わせ先
町民生活課 国保年金業務
☎(62) 2114

町税

10月から町県民税の引き落とし開始

今年4月1日現在65歳以上の人で、公的年金の所得に対し町県民税を納付する人は、10月支給の公的年金から引き落とし(特別徴収)が始まります。

- これは、納税方法を簡単にし、皆さんが納税しやすくするもので、新たに負担が生じるものではありません。今回から対象となる人には、6月中に郵送した「平成21年度町県民税・県民税納税通知書」の中でお知らせしていますので、再度確認してください。7月以降に死亡・転出、税額変更などで今年度(21年度)の町県民税額が変わる人については、年金引き落とし(特別徴収)ができなくなるため、普通徴収(現金納付・口座振替)に変更になります。
- 町県民税の公的年金引き落とし(特別徴収)について、不明な点があれば、税務課賦課業務まで気軽に問い合わせてください。
- ▼問い合わせ先
税務課 賦課業務
☎(62) 2113(直通)

掲示板

告示

- ・第65号「猪苗代町女性特有のがん検診推進事業実施要綱」(保健福祉課健康づくり業務)
- ・第66号「21年度国民健康保険

今後の年金引き落としスケジュール

引き落とし月	年金引き落とし(特別徴収)			年金引き落とし(特別徴収仮徴収)			特別徴収
	10月	12月	2月	4月	6月	8月	
税額	町県民税年税額の1/6			2月の引き落とし額と同じ額を仮徴収			仮徴収額の精算 精算額の1/3

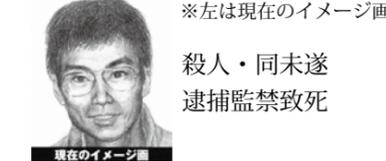
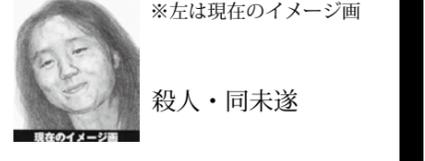
注：精算額は当該年度の町県民税額から、4月から8月までの仮徴収額を精算した残額

公告

- ・第31号「平成21年度国民健康保険税の公示送達について」(町民生活課国保年金業務)
- ・第32号「不動産等の最高価申込者決定について」(税務課収納業務)
- ・第33号「公売公告及び見積価格公告」(税務課収納業務)
- ・第34号「農用地利用集積計画について」(農業委員会農地業務)
- ※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

猪苗代警察署からのお知らせ

オウム真理教特別手配被疑者

 <p>ひらた まこと 平田 信(44歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身長 183センチくらい ○長身、ひげ濃い、歯並び悪い ○左首筋にほくろ 	 <p>たかはし かつや 高橋 克也(51歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身長 173センチくらい ○中肉、眉毛濃い、頭大きい ○近視 	 <p>きくuchi なおこ 菊地 直子(37歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身長 159センチくらい ○右目下にほくろ ○右こめかみにほくろ
 <p>※左は現在のイメージ画 逮捕監禁致死 爆発物取締罰則違反</p>	 <p>※左は現在のイメージ画 殺人・同未遂 逮捕監禁致死</p>	 <p>※左は現在のイメージ画 殺人・同未遂</p>

あなたの情報が検挙に結びついた場合は、民間で組織されたオウム真理教特別手配被疑者検挙のための懸賞広告実行委員会から、手配された被疑者1人あたり200万円の懸賞金が支払われます(懸賞金総額600万円)

「あれ?」「もしかして!」と思ったら、110番、駐在所または 猪苗代警察署 ☎(63) 0110

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成21年7月31日現在)

1 犯罪発生状況					
町村別	年別	平成21年	平成20年	増減	増減率%
猪苗代町		77	73	4	5.5
磐梯町		18	11	7	63.6
裏磐梯		11	7	4	57.1
計		106	91	15	16.5

町村別	猪苗代町	磐梯町	裏磐梯			
罪種別	21年	20年	21年	20年	21年	20年
窃盗犯計	70	56	17	9	10	6
空き巣		15				
出店荒らし	3	1	2			
忍込み						
事務所荒らし						
車上ねらい	6	3				1
自動販売機ねらい	1	2				1
部品ねらい	1					
脱衣場ねらい	9	3				
金庫破り		1				1
万引き	9	2				
置き引き		3		4		2
職場ねらい	1		1			1
同居ねらい						
さい銭ねらい	1	2	1			
野荒らし						
給油所荒らし						
スキー・スノーボード盗	6	4	9			5
その他の窃盗	22	15	3	5	2	1
自転車盗	7	5				
オートバイ盗	2					
自動車盗	2		1			
その他の乗り物盗						
器物損壊	5	11			1	1
詐欺・横領		2			1	
暴行・傷害	1	3	1			
その他の刑法犯	1	1				
総計	77	73	18	11	11	7
増減		4		7		4

◎振り込め詐欺にご用心
依然として県内で振り込め詐欺被害が相次いでいます。身に覚えのない請求や還付金を名目とした詐欺に注意してください。

2 交通事故状況

死亡事故	1	1	0	0	0	0
増減		0		0		0
人身事故	56	65	10	15	8	10
増減		-9		-5		-2

◎高齢者の二輪車事故が発生しています。
高齢者が運転するバイクや自転車を見かけたら、思いやり運転をお願いします。

募 集

会社・法人登記事務の取り扱いが変わります

現在、福島地方務局若松支局が取り扱っている会津地方の会社や法人の登記事務は、22年2月1日(月)から福島市の同局本庁法人登記部門で取り扱います。

会社の設立や役員変更の登記申請、印鑑(改印)届などは福島市の同局で手続きをしてください。

登記事項証明書・印鑑証明書の交付事務(動産・債権譲渡登記に係る概要記録事項証明書の交付事務を含む)や印鑑カードの交付、電子証明書の発行申請などは、引き続き若松支局でも取り扱います。

※不動産登記事務については、取り扱いの変更はありません。
詳しくは下記まで問い合わせてください。

◎福島地方務局法人登記部門
☎024(534)1111

高齢者・障害者の人権問題の相談に応じます

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、9月6日から9月12日までの7日間、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間として、身体的・心理的虐待や差別などの高齢者・障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委

員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。気軽にご相談ください。

強化週間の期間以外の日(土・日・祝日を除く。)についても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますので、ご利用ください。

●期間 21年9月6日(日)から9月12日(土)までの7日間

●時間 午前8時30分から午後7時まで(ただし、9月6日(日)・9月12日(土)は午前10時から午後5時まで) ☎024(534)2021

◎福島地方務局人権擁護課
☎024(534)1994

お知らせ

住宅火災からあなたや家族の命を守るために

皆さんもう設置しましたか。
23年6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられます。

「万が一 あなたを守る 住警器」住宅火災の死者の約60%は、逃げ遅れが原因で亡くなっています。火災を早期に発見するため、住宅用火災警報器を設置してください。大切な命と財産を火災から守りましょう。

◎猪苗代町消防署
☎(62)4433



子どもたちのことをもっとよく知る機会です

猪苗代養護学校では、日ごろの学習の成果を発表する場として、学習発表会を実施します。

劇などのステージ発表のほか、本校児童生徒の作品に町内の皆さんの作品を加えた作品展や本校の日ごろの活動を体験できるイベントコーナー、作業学習製品の販売コーナーなど、盛りだくさんの内容です。

地域の皆さんとひとつになり、楽しい学習発表会を創り上げたいと思います。本校の児童生徒と交流を深めてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしています。

●開催日時 10月17日(土) 午前9時20分～午後2時

●ステージ発表 9時30分～11時

●製品販売・イベント 11時～12時

※進行状況により、若干時間が前後することがあります。

●開催場所 福島県立猪苗代養護学校

◎お問い合わせ先 ☎(65)2151 担当 大滝

戦没者の遺族の方々に弔慰金が給付されます

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」(第九回特別弔慰金)が支給されます。対象となる遺族の人は、早めに請求してください。

●支給対象者
17年4月1日から21年3月31日までの間において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける人(戦没者等の妻や父母等)が亡くなるなどし、21年4月1日現在、前記年金給付の受給権者がいない場合、遺族一人に特別弔慰金が支給されます(支給される遺族には順位があります)。

●給付内容 額面24万円、6年償還の記名国債

●請求期限 24年4月2日まで
◎保健福祉課 社会福祉業務 ☎(62)2115

安心の相談専用電話ダイヤルは「#9110」へ

警察では、相談電話のダイヤル「#9110」番にちなみ、9月11日を警察相談の日としています。

●相談電話について
相談専用電話「#9110番」は、携帯電話、PHSからも利用可能ですが、ダイヤル回線の電話や一部のIP電話については利用できないため、相談窓口の直通電話024(533)9110をご利用ください。

●緊急の通報とそれ以外の相談について
緊急の事件事故の場合は「110番」へ、緊急の事件・事故以外の相談は「#9110」番をご利用ください。

●主な相談取り扱い事項
○ストーカー事件○児童虐待、高齢者虐待○DV(配偶者からの暴力)○自殺、いじめ問題○振り込め詐欺(オレオレ詐欺・還付金詐欺・融資保証金詐欺・架空請求)○ヤミ金融など

●相談取扱時間
事件の被害や緊急の場合は、#9110、警察署、交番で24時間受け付けておりますが、一般の相談は、平日の8時30分から、午後5時までの時間にお受けします。秘密は厳守します。安心してご相談ください。

◎猪苗代警察署 ☎(63)0110

●国民健康保険税 3期分
●介護保険料 3期分
●後期高齢者医療保険料 2期分
●上下水道使用料 8月分

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出てください。

町の人口

平成21年7月1日現在の現住人口(前月比)	
世帯数	5,085戸(-4)
人口	7,604人(-12)
男	8,311人(-18)
女	15,915人(-30)
計	
出生	10人
転入	25人
死亡	18人
転出	47人

●国民健康保険税 3期分
●介護保険料 3期分
●後期高齢者医療保険料 2期分
●上下水道使用料 8月分

編集後記

▼先月、テレビなどで伝えられたニュースの中で、特に時間をかけて報道されたのは、衆議院議員選挙関連のもの、芸能人が覚せい剤取締法違反で逮捕されたニュースだ。▼民主党が単独で三百議席を獲得するという大躍進を遂げ、政権を担う与党になった。三百議席という数字は、国民の期待の表れだろう。子ども手当の創設や高速道路の無料化など、選挙前の公約は守られるのか。財源はどこから確保するのか。今から心配する声も聞かれるが、わたしたち町民はもちろん、日本国民全体の生活が良くなるように期待したい。諸外国との関係では、弱腰の外交をしない、強い政府であることを願う。▼あの芸能人が覚せい剤で逮捕！確かにインパクトがあり、皆さんの関心も高いかも知れないが、放送時間を取りすぎではないか。ほかのニュースの放送時間が短くなって、わたしは「マンモス悲劇」(大坂)

